

製造業の業務整理屋。AIも使える人

— 製造業の現場を25年知っている業務整理屋が、属人化した仕事を「回る形」に整えます —

機械設計の現場経験 25年 × 設計チーム統括 約10年

1 可視化・棚卸し

業務の流れを図に描き起こす

2 標準化・手順書化

誰でも回せる手順書に落とす

3 自動化

手作業を仕組みに置き換える

対象：中小製造業の経営者・設計/製造/品質部門の責任者の皆さま

業 務 改 善 舎

こんな困りごとはありませんか

製造業の現場で、繰り返しご相談いただく4つです

1 あの人しか分からない業務がある

その人が休んだ日、仕事ごと止まる。異動や退職の話が出て、初めて重さに気づきます。

2 手順が「人の頭の中」にしかない

新人が一人前になるまで数年がかり。教えるベテランの負担も、いつまでも減りません。

3 ExcelとメールとGoogleに情報が分散

探す・転記する・突き合わせる。この“作業のための作業”が毎日積み重なっています。

4 担当が変わると業務が止まる

引き継ぎ書はあっても「なぜそうするのか」が残っておらず、判断のたびに手が止まります。

放置するとどうなるか

これらは自然には直りません。ベテランの定年・突然の退職・急な増産で、ある日一気に表面化します。そして原因は人ではなく、「仕組みがないこと」。人を責めても解決しません。

私は何者か

製造業の現場に25年。設計者として、管理職として、その両方の目で業務を見てきました

2000年ごろ～

中堅の産業機械メーカー（約20年）

- 機械設計・CAE解析を担当
- 2D→3D CAD移行を自ら提案し主導
- 設計課長として最大15名を統括（約10年）
- 進捗・原価・予算管理まで経験

2022年～（現職）

上場の産業機械メーカー

- 新規装置の機械設計を担当
- 顧客ヒアリングから仕様の取りまとめまで
- ベテランの判断基準を数値化して残す社内の取り組みにも従事

現在（兼業）

業務改善舎

- 現場25年の経験を「仕組み化の技術」として社外に提供
- 属人化の解消・手順書化・自動化を小さな単位からお手伝い

肩書より大事なこと

図面も描く。Excelも組む。人もまとめる。現場の「全部の立場」を経験しているので、机上の理屈ではなく“現場が実際に回るやり方”でご提案できます。経歴はすべて事実です。

何ができるか：3本柱

いきなり自動化はしません。この順番で進めるのが、遠回りに見えて確実です

1 業務の可視化・棚卸し

こんな時に

「何が問題かも、よく分からない」

やること

業務の流れをフロー図に描き起こし、仕事が止まる場所（ボトルネック）と原因を指摘します。

お渡しする成果物（例）

業務フロー図／課題の一覧

2 標準化・手順書化

こんな時に

「あの人しかできない仕事がある」

やること

頭の中のやり方を聞き取り、誰でも回せる手順書・チェックリストに落とし込みます。

お渡しする成果物（例）

作業手順書／チェックリスト

3 自動化

こんな時に

「毎回の手作業・転記が減らない」

やること

Excel/VBA・GAS・Pythonで手作業を仕組みに置き換えます。必要に応じてAIも道具として使います。

お渡しする成果物（例）

自動集計ツール／連動する台帳

道具（Excel/VBA・GAS・Python・AI）は手段。目的は「特定の人に頼らなくても回る業務」です。

進め方：全部やろうとしない

一度に全部を変えようとして失敗した経験から、この進め方にたどり着きました

かつての失敗：一気に変えようとした

- × 対象業務を全部リストアップして、全部を仕組み化しようとする
- × 作る量が多すぎて、完成する前に現場が待ちくたびれる
- × 現場は忙しいので、慣れた元のやり方に戻ってしまう
- × 作りかけの手順書とツールだけが残る

だから



いまの進め方：効く工程に絞る

- 1 まず困りごとを聞き、業務全体をざっと見る
- 2 いちばん効く工程を「1つだけ」選ぶ
- 3 小さく作り、現場で実際に使ってもらう
- 4 回り始めたのを確認してから、次の1つへ

小さく始めて、確実に回す。
失敗を経験しているからこそ、「続く仕組み」を最優先に設計します。

実績ハイライト

数字はすべて事実のみ。架空の実績・盛った数字はありません

25年

機械設計の現場経験

設計・解析から顧客折衝まで一貫して従事

最大15名

設計チームの統括（約10年）

進捗・原価・予算の管理と部下育成

3点連動

VBAで書類仕事を仕組み化

仕様書・図面・手配書が連動して更新される仕組みを構築

暗黙知→数値

ベテランの判断基準を数値化

パラメトリック設計で「勘とコツ」を誰でも使える形に

約1億円

受注獲得への貢献

3D CADを活用した提案で大型案件の受注に貢献

社内初

解析の外販につながる事例

自ら導入したCAE解析が、社内初の受託解析案件に

※ 守秘義務のため、社名・製品分野などの固有情報は記載していません。

仕事ぶりは「実物」でご覧ください

本資料とは別に、成果物サンプルを2本ご用意しています（いずれも架空事例で作成）

QM-STD-014（サンプル版）

作業手順書と
チェックリスト

業務改善舎

サンプル 01

作業手順書とチェックリスト

設計変更対応 標準手順書（全11ページ）

- 設計変更の流れを7つのステップに標準化
- 「図面を直して終わり」で起きる事故を図解
- 確認チェックリスト13項目・引き継ぎの注意点つき

QM-FLOW-021（サンプル版）

業務フロー図と
ボトルネック指摘

業務改善舎

サンプル 02

業務フロー図とボトルネック指摘

客先クレーム対応の標準化（全9ページ）

- 4部門をまたぐ業務の流れを1枚のフロー図に
- 仕事が止まる「待ち」の場所と原因を特定
- 是正報告までの改善後フローを提案

実物をお送りできます。お気軽にお申し付けください。

※ 守秘のため実案件そのものはお見せできませんが、作り方・図解の粒度・チェックの細かさはこのままです。

稼働条件と、始め方

正直にお伝えします。そのうえで「小さく1本」からのお試しをおすすめしています

稼働条件（正直ベース）

会社員と兼業です

平日夜と週末が中心。週7〜20時間を確保しています

やり取りはチャット中心

返信は原則24時間以内。オンライン打合わせは平日夜・週末に対応

お受けしない案件

常駐・日中の即時対応が前提の案件はお受けしません

始め方：まず小さく1本

1

現状の困りごとをお聞きします

資料が散らかったままで大丈夫です

2

効く1本を選んで、ご提案

範囲と成果物を決めてからお見積り

3

小さく1本、作って納品

手順書1本・管理表1本などの単位

4

現場で使えたら、次の1本へ

合わなければ1本で終了。しがみつきます

最初の1本が小さいのは、御社のリスクを小さくするためです。合う・合わないは、1本目で判断してください。

まずは、現状の困りごとをお聞かせください

「何から手を付ければいいのか分からない」という段階から大丈夫です。
散らかったままの状態を、そのまま見せていただくのが一番の近道です。

ご連絡は、お取引中のプラットフォームのメッセージからお気軽にどうぞ

業 務 改 善 舎

製造業の業務整理屋。AIも使える人

本資料の経歴・数字はすべて事実に基づきます。守秘のため、社名・具体的な製品分野は伏せています。